

出願書類に関する注意事項

受理した書類は返却いたしません。

- 1 学部・学科名は証明書記載の内容と一致するよう、省略せず、正しく記入してください。
- 2 卒業論文論題欄は、仮題でもかまいませんので必ず記入してください。なお、卒業論文が未定の場合は「未定」、ない場合は「なし」と記入してください。また、指導教員がいない場合は、「なし」と記入してください。
- 3 記入する氏名は、住民票、パスポートまたは在留カードに基づいて記入してください。
なお、外国人留学生の氏名はカタカナまたは漢字・アルファベットを使用してください（ひらがな不可）。
また、Web エントリーにおいて代用漢字等を使用した場合については、出願書類と Web エントリー上の文字と異なっても問題ありません。
- 4 手書きの場合、黒のインクまたはボールペン（消せるボールペンは除く）で記入してください。
なお、パソコン等で『志望理由書』や『志望理由書・研究計画書』の作成が認められている文学・商学・社会学・外国語教育学・心理学・社会安全学・ガバナンス・人間健康研究科では、PDF のフォーム機能を利用して文字入力が可能です。外国語教育学研究科は、原則、PDF のフォーム機能を使用し、パソコン等で志望理由書を入力のうえ、印刷してください。
ただし、正しく入力できない場合やフォーム機能が設定されていない箇所については、印刷後、手書きで記入してください。
- 5 法学・経済学・商学・総合情報学・外国語教育学・心理学・社会安全・ガバナンス・人間健康研究科で求める研究計画書には、必ず氏名を明記のうえ、用紙下部にページ番号（1/2, 2/2 のように総ページ数も含めること）を記入してください。
- 6 その他
 - (1) 証明書記載の氏名と出願時の氏名が異なる場合は、同一人であることがわかる公的な証明書（戸籍抄本・戸籍個人事項証明書等）を別途提出してください。
 - (2) 各証明書は、日本語、英語または中国語で書かれているものを有効書類とします。それ以外の言語で書かれている場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた日本語または英語の訳文を提出してください。
 - (3) 必要に応じて、別途書類の提出を求める場合があります。
 - (4) 出願期間内に書類が整わない場合、出願を認めないことがあります。
 - (5) 出願に関するお問い合わせは、日曜日、祝日および以下の期間以外にお願いします。
 - ・ 2020年8月1日(土) ~ 9月20日(日)の間の土曜日
 - ・ 2020年8月11日(火) ~ 8月20日(木)
 - ・ 2020年12月26日(土) ~ 2021年1月6日(水)

出願書類一覧（チェックリスト）

出願書類に不備がないか、チェック欄に”○”を付して確認してください。
 また、以下の一覧に対応する「書類番号」を全ての出願書類の右下に記入し、番号順に整理のうえ、提出してください。
 なお、本票も出願書類とあわせて提出すること。

研究科	課程	入試種別	氏名
研究科	博士課程前期課程	学内進学試験	フリガナ

対象者	チェック	書類番号	出願書類	注意事項
全員		①	志願票（提出用）	「出願書類④」に記載の卒業・修了（見込）年月にもとづき、Webエントリーの卒業・修了（見込）年月を入力すること
全員		②	志望理由書 （文学・東アジア文化研究科は「志望理由・研究計画書」）	本学所定用紙 ※社会学・理工学研究科では指導教員の押印が必須 ※法学・経済学・理工学・東アジア文化研究科は本人自筆に限る
全員		③	成績証明書	本学に編・転入学した場合は、それ以前の大学等の成績証明書もあわせて提出すること
全員		④	卒業見込証明書	
法学・経済学・商学・総合情報学・外国語教育学・心理学・社会安全・ガバナンス・人間健康研究科		⑤	研究計画書	法学・商学・外国語教育学研究科は5部 経済学・心理学・社会安全・ガバナンス研究科は4部 総合情報学研究科は本学所定用紙1部 人間健康研究科は3部
法学研究科		⑥	出願資格・筆記試験免除確認票	本学所定用紙
一部の研究科の該当者		⑦	語学検定試験のスコア・合格証明書類等の原本およびその写し	法学・理工学・外国語教育学・人間健康研究科の該当者のみ
社会安全研究科の該当者		⑧	成績優秀証明書	
社会学研究科の該当者		⑨	筆記試験免除確認票	本学所定用紙

処理記録（記入不要）

--

研究計画書

受験番号	※
------	---

研究科	専攻	志望課題研究科目	氏名
総合情報学	専攻		カガナ

<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"><p>5</p><p>10</p><p>15</p><p>20</p></div>

※欄は記入不要

裏面へ
↓

⇒の行から書くこと。